

編み物ボランティア募集中!



認知症ケアで使われる筒状のニット『認知症マフ』

手を入れた時の温かな感触や中の飾りを握ったり掴んだりすることで、点滴針を抜く行為や、ベッド柵を掴みガタガタ動かす行為が止まり、ホッと落ち着くという報告があります。

編み物が得意な方や好きな方、手編みのマフ作りをお手伝いいただけませんか。

個人でもグループでも、空いている時間を使って編み物でボランティアして頂ける方を募集中です。(※シニアボランティアポイントの対象となります)

横浜総合病院一般病棟にて認知症マフを取り入れており、大場地域ケアプラザが窓口となって定期的にマフをお届けする長期的な支援を目指しています。

※「認知症マフ」作り方講座・交流会※

日時：令和5年9月21日(木) 10:00~12:00

場所：横浜市大場地域ケアプラザ 多目的ホール

※お電話にてご予約をお願い致します

内容：「認知症マフ」とは 病棟での活用方法・活用の様子
認知症マフを作る際の注意点 使い易いマフとは
編み物グループのご紹介 など



大場地域ケアプラザ
ホームページ

※編み図等は「認知症マフ作り方」で検索! 地域福祉活動を支援しておられる朝日新聞厚生文化事業団のHPを参考にしています。



お問い合わせ先

横浜市大場地域ケアプラザ

地域活動交流 熊谷

横浜市青葉区大場町 383-3

TEL 045-975-0200

<http://www.hama-wel.or.jp/office/ooba/>

あざみ野駅より東急バス

②番乗り場 (71・72系統) から乗車